



〈15〉



っている。心材の強度も原生木に劣らない状態だった。樹木の一部は南信濃自治振興センターや旧木沢小学校、観光交流施設の「梨元ていしやば」で展示されている。

畑上地区の国道152号から砂利道を下りていくと、遠山川の河川敷に高さ約三層のヒノキが一本、ぼつんと立っていた。

いにしえの自然災害を知る「生き証人」。清流に洗われ、幹の半分ほどしか残っていないが、幹は空を真っすぐに見詰め、どこか堂々とした様子だった。(杵木良)

奈良時代の七二四（和銅 七）年の大地震で山が崩れ、遠山川がせき止められた湖に木々が埋没した。当時の埋没林が河床に露出しており、飯田市南信濃大島地区や畑上地区などで見ることができ

いにしえの地震“証言”

遠山の埋没林

(飯田市南信濃)

